

連絡網にて会員各位（各グループ企業）へ配付、FAX方お願いいたします。

発信番号：DNSC - 276 発信日：2003年4月18日 原稿枚数：2

会員各位（総経理・所長、駐在員の皆様）

ご家族の方にもお知らせ下さい

発信：大連日本商工クラブ

大連市中心医院日本人医療相談室

労働節休暇に伴う休診のお知らせ【再送】とSARSについて

また、労働節の休暇に伴い、日本人医療相談室は、以下の通り休診となりますのでご注意ください。
また、5月8日（木）より、開発区での診療日が1日増えることにより、市内、開発区での診療日が変更しますのでご注意ください。前回DNSC 269（4月7日発信）で、4月28日（月）午後の診療が中心医院となっておりましたが、アカシア別荘での診療です。ここに訂正するとともにお詫び申し上げます。

4月26日（土）	振替診療日（午前：中心医院、午後：アカシア別荘）
4月27日（日）	振替診療日（午前：中心医院、午後：中心医院）
4月28日（月）	通常どおり診療（午前：中心医院、午後：アカシア別荘）
4月29日（火）	通常どおり診療（午前：中心医院、午後：中心医院）
4月30日（水）	通常どおり診療（午前：中心医院）午後：労働節休暇のため休診

5月1日（木）	労働節休暇（休診）
5月2日（金）	労働節休暇（休診）
5月3日（土）	労働節休暇（休診）
5月4日（日）	労働節休暇（休診）
5月5日（月）	労働節休暇（休診）
5月6日（火）	労働節休暇（休診）
5月7日（水）	労働節休暇（休診）
5月8日（木）	新・診療日開始（午前：中心医院、午後：中心医院）
5月9日（金）	新・診療日開始（午前：中心医院、午後：アカシア別荘）
5月10日（土）	休日（休診）
5月11日（日）	休日（休診）
5月12日（月）	新・診療日開始（午前：中心医院、午後：アカシア別荘）

SARS に関して

最近特に重症急性呼吸器症候群（SARS）に関しての問い合わせが増えてきました。また、様々な噂も飛び交っておりますので情報を整理し以下に今のところ確実な情報を提示します。

SARS とは？

2003年2月以降、香港、ベトナムのハノイ等で原因不明の重症急性呼吸器症候群（SARS）が発生し、今日に至っている。（中国南部でも同時期に発生していると考えられるが正式な発表はなかったようです。）症状としては38 以上の急な発熱、咳・息切れ・呼吸困難感などの呼吸器症状を現します。

感染者の傾向

香港食物衛生環境署が発表した3月22日現在の患者の内訳は以下のとおりです。

病院関係者	97名
医学生	17名
その他(患者の家族、見舞客等)	108名
合計	222名

__上記から理解できるように感染者の半分以上が病院関係者であり、その他の者も患者の家族もしくは見舞い客が多いことが理解できる。つまり、街ですれ違う程度では感染しないと考えられます。

感染者の分布

また、3月27日現在、WHO（世界保健機関）が発表している合計患者数、死亡者数は以下のとおりです。

2月1日～3月27日

国（地域）	合計患者数	死亡者数
カナダ	28	3
中国*	806	34
香港特別行政区	367	10
台湾	6	0
フランス	1	0
ドイツ	4	0
イタリア	2	0
アイルランド	2	0
ルーマニア	3	0
シンガポール	78	2
スイス	2	0
タイ	3	0
英国	3	0
米国	45	0
ベトナム	58	4
合計	1408	53

* 2002年11月16日から2003年2月28日の広東省での患者数792と死亡者数31を含んでいます。

情報としては古いとは思いますが一定の傾向を読み取ることが出来ます。つまり、恐らくは香港もしくは中国南部で発生し、外国へは香港から関係の深い地域（よく香港人が行き来している地域。ベトナム・シンガポール・カナダ・米国）に波及していった。また、上記の前提から考えるに大連も香港・広州へは定期便が直接飛んでおり、警戒は必要とは思われます。

感染対策

- (1) 手洗い・うがいの励行など通常の感染予防策を行って下さい。
- (2) 人混みはできるだけ避けて下さい。少なくとも状況が沈静化してくるまでは不要・不急の外出は避けるべきでしょう。
- (3) 38度以上の急な発熱、咳、息切れ、呼吸困難などの呼吸器症状が出現した場合には、すぐに最寄りの医療機関で受診して下さい。（その際、SARSが疑われた場合には、現地での入院が必要になったり、健康状態が回復するまで帰国が延期される場合があります。）その際は、鼻と口をマスクで覆い医療機関を訪れて下さい。
- (4) 出張先などでSARSが疑われる患者、もしくはSARSの可能性のある患者と接触した場合には、すぐに最寄りの医療機関で受診して下さい。また、その際は、上記(3)と同様、鼻と口をマスクで覆い医療機関を訪れて下さい。
- (5) 4月2日よりWHOは香港及び広東省への不要不急の渡航を延期することを検討するよう勧告を发出了しました。同地域への出張は不要・不急の場合は避けるべきとされています。

大連の感染状況

今のところ大連ではSARS患者は発見されておりません。（市衛生局の発表）しかしながら、上記の通り中国南部と直行便が存在するために警戒は必要です。